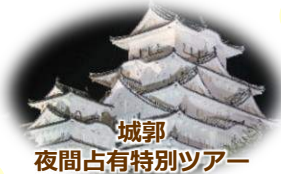


訪日外国人旅行消費額 5 兆円という目標を早期に達成するため、インバウンドの地方への誘客や観光地の再生・高付加価値等により消費額拡大を一層強力に推進するとともに、喫緊の課題であるオーバーツーリズムの未然防止・抑制や人材不足対応等の受入環境整備を早急を実施する。

地方誘客促進によるインバウンド拡大 【約184億円】

- 特別な体験の提供等によるインバウンド消費の拡大・質の向上
文化、自然、食、スポーツ等を早朝夜間や未公開・非混雑エリア等の活用と組み合わせ、特別な体験や期間限定の取組を創出



城郭
夜間占有特別ツアー



立入禁止区域特別ツアー



貸切・特別展

- 地域観光新発見事業
全国津々浦々に埋もれる観光資源を掘り起こし地方誘客を強力に推進



- 地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり

全国11モデル地域において、高付加価値旅行者を惹きつけるコンテンツの創出等を加速



- 海外ビジネス客の訪日促進

企業のミーティング・インセンティブ旅行向けコンテンツの開発等を全国各地で実施

※上記に加え、クルーズ船の寄港地観光ツアー造成支援等を実施

地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化 【約200億円】

地域一体となった面的な宿泊施設の改修、廃屋撤去等による観光地の再生・高付加価値化を引き続き推進

※令和4年度第2次補正予算における国庫債務負担行為の歳出化予算

オーバーツーリズムの未然防止・抑制・受入環境整備による持続可能な観光推進 【約305億円】

- オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能観光の推進
受入環境の整備・増強、需要の適切な管理、需要の分散・平準化、マナー違反行為の防止・抑制、地域住民と協働した観光振興に取り組む地域（先駆モデルとなる全国約20地域等）を支援



看板の設置



アプリ配車
専用乗り場



ゴミ対策

- 観光地・観光産業における人材不足対策
人材活用に向けた設備投資・セミナー等を支援

- 公共交通の対応力増強
車両の大型化・デジタルを活用した混雑状況の可視化



スマート
チェックイン・アウト



連節バス

※上記に加え、観光施設等の危機管理対応能力の強化、宿泊施設における省工不設備導入支援、空港におけるスマートレーンの整備支援 等を実施

地方における高付加価値なインバウンド観光地づくりの取組について

- 訪日外国人旅行者数は2019年に3千万人を超えていたが、消費額は4.8兆円（2020年目標8兆円）であり、取組の強化が不可欠。
- いわゆる高付加価値旅行層（着地消費額100万円以上／人）は、訪日旅行者全体の約1%（32万人）に過ぎないが、消費額は約14.0%（6,700億円）を占める。ただし、大都市圏での買物消費等が多く、地方での消費が少ない。

ウリ	ヤド	ヒト	コネ
 <p>→ 高付加価値旅行層にも訴求力のある魅力的コンテンツの発掘力・商品造成力の不足</p>	 <p>→ 地方に上質なインバウンド宿泊施設が不足</p>	 <p>→ 高付加価値旅行層のニーズを満たす人材（地方への送客、ガイド、ホスピタリティ等）が不足</p>	 <p>→ 海外における有力な高付加価値旅行者誘客人脈へのコネクション力不足</p>

主な取組の方向性（例）

<ウリ・ヤド・ヒト共通>

- 各地域の観光地経営体制の整備に向けた支援
- 地域のマスタープラン策定支援
- 専門性のある人材の派遣・ノウハウ共有
- 事業資金の確保に対する支援

<ヒト>

- スキルアップ支援
- 他業種人材の活用支援

<コネ>

- JNTOの体制強化（専門組織の設置等）による海外セールスの強化等

<その他：アシ>

- 高付加価値旅行層のニーズを踏まえた移動のシームレス化への対応等（プライベートジェット、スーパーヨットの運航に係る手続緩和等）

■ 今後の進め方

令和5年(2023年)3月

- ・全国11カ所のモデル観光地を選定



令和5年(2023年)度中

- ・各エリアにおけるコアバリューの特定
- ・地域経営主体の構築
- ・マスタープランの作成



令和6年(2024年)度以降

- ・マスタープランに基づき、「ウリ」「ヤド」「ヒト」「コネ」「アシ」に関する検討の具体化、取組の実施

地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり

- 「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくりモデル観光地」について、**11地域を選定**。(R5.3.28)
- 今後、**高付加価値旅行者の地方への誘客**に必要な課題や取組を、**ウリ・ヤド・ヒト・コネ+アシの5つ観点**で**集中的に実施**。



モデル観光地	
1	東北海道
2	八幡平
3	那須及び周辺地域
4	松本・高山
5	北陸
6	伊勢志摩及び周辺地域
7	奈良南部・和歌山那智勝浦
8	せとうち
9	鳥取・島根
10	鹿児島・阿蘇・雲仙
11	沖縄・奄美

2023年度に供用開始したビジネスジェット専用動線

【航空局作成資料】

那覇空港

○2023年9月より、ターミナルビルの一部を改修したビジネスジェット専用動線が開業

【専用動線の概要】

- 供用開始：2023年9月1日
- 運用主体：那覇空港ビルディング株式会社
- 運用時間：6:00～22:00
- 設備概要：保安検査場、C I Q施設、受付カウンター、待合ラウンジ
 (参考) BJ年間発着回数：1,282回 (国内：1,202回、国際：80回)
 (2023年1月～10月)



エントランス



CIQカウンター



待合ラウンジ



保安検査場

新千歳空港

- 2023年12月より、国際線ターミナル横にビジネスジェット専用施設が開業
- 株式会社ユニバーサル・アビエーション（ビジネスジェットの運航支援を行う会社）が実施

【専用動線の概要】

- 供用開始：2023年12月8日
- 運用主体：株式会社ユニバーサル・アビエーション
- 運用時間：24時間
- 設備概要：保安検査場、C I Q施設、受付カウンター、待合ラウンジ
 (参考) BJ年間発着回数：738回 (国内：325回、国際：413回)
 (2023年1月～10月)



外観



エントランス

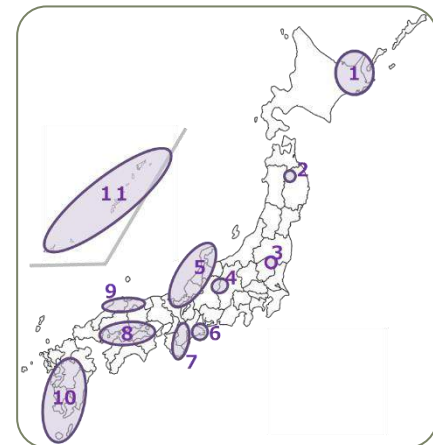


待合ラウンジ



保安検査場

地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり



事業目的 背景 課題

- 観光立国推進基本計画の目標（訪日外国人旅行消費額：早期に5兆円、訪日外国人旅行消費額単価：令和7年度までに20万円、訪日外国人旅行者一人当たり地方部宿泊数：令和7年度までに2泊）の早期の達成に向け、高付加価値旅行者（着地消費額100万円以上/人）の地方への誘客の強化が不可欠。
- 令和5年3月に選定した11のモデル地域において、高付加価値旅行者を惹きつける商材の作成やコンテンツの創出等を支援し、高付加価値な観光地づくりを加速。

事業内容・事業イメージ

マスタープラン（令和5年度中に策定）
 （コアバリュー、推進体制、今後の取組事項、スケジュール、KPIで構成）

○高付加価値旅行者を地方に送客する人材、写真家等によるファムツアーを実施

- ・商材の作成・コンテンツの創出
- ・宿泊施設・移動環境の具体的な検討
- ・ガイドの体制・能力の検証

○富裕層を顧客に持つ旅行会社の招請

<目指す姿>



魅力的なコンテンツの創出



宿泊施設の高付加価値化



移動のシームレス化



地方への送客・ガイド・ホスピタリティ人材の育成

事業スキーム

・事業形態：直轄事業 ・請負先：民間事業者

お問い合わせ先：観光庁 観光地域振興課 電話：03-5253-8327

特別な体験の提供等によるインバウンド消費の拡大・質向上推進事業

事業目的・背景・課題

- 我が国のインバウンド消費の回復は途上にあり、特に、地方におけるインバウンド消費の回復状況は、地域毎に大きな差が生じている状況である。
- 早期にインバウンド消費額5兆円を達成し、一人当たり消費額25万を目指すと同時に、我が国の地方の魅力を世界中に発信・訪日誘客し、その果実を地方へ波及させることが極めて重要である。

事業内容

- 我が国が誇る観光資源（自然、文化、食、スポーツ等）を、早朝夜間や未公開・非混雑エリア等の十全な活用と組み合わせ、これまでにないインバウンド需要を創出、期間限定の特別な体験として提供。
- 特に、地方における体験コンテンツ等の消費を一層拡大・質の向上を図るため、地方の自然・伝統文化活用、食の地産地消、地域人材の活用等を奨励し、極めて付加価値が高く、地域の目玉となる様々な資源を集約した「地方プレミアム体験コンテンツ」の創出を促進。
- 海外情報発信の観点から、海外旅行博等における訪日イベントを実施。

事業スキーム

・事業形態：直轄事業・間接補助事業

(1) 国・地方型（直轄事業）：上限8,000万円（最低事業費：3,000万円）

(2) 民間企業型（補助事業）

①インバウンド規模3,000名以上:1,500万円定額 1,500～6,000万円まで補助率1/2
（最低事業費：2,500万円）

②高付加価値：1,000万円定額 1,000～3,000万円まで補助率1/2
（最低事業費：1,500万円）（単価3倍以上）

・請負先：民間事業者

・補助対象：国→民間事業者（事務局）→地方公共団体、DMO、民間事業者 等

事業イメージ

期間限定の特別な体験



学芸員解説付き
貸し切り特別ツアー
（三の丸尚蔵館）



夜間特別開館による
音楽会の開催と日本食提供
（東京国立博物館）

地方プレミアム体験コンテンツ



姫路城
夜間占有特別ツアー



知床国立公園
立入禁止区域特別ツアー

海外情報発信



韓国のインクルエンガーを対象とした
訪日イベント



アメリカ・ニューヨーク
旅行業関係者を対象とした
訪日イベント

地域観光新発見事業

事業目的・背景・課題

- 観光需要が本格的に回復する中、観光客の宿泊先はインバウンドを中心に**都市部へ偏在傾向**。観光による経済効果を地方にも波及するためには、特に地方部の地域間競争力を高め、**地方誘客を強力に進める必要**。
- **全国津々浦々に埋もれる地域の観光資源を掘り起こし、地域の多様な観光コンテンツを造成**するとともに、**適時適切な誘客につながる販路開拓や情報発信**を行うことにより、**地方への継続的な来訪を促進**。

事業内容

- 地域の観光資源を活用した地方誘客に資する観光コンテンツについて、**十分なマーケティングデータを活かした磨き上げから適時適切な誘客につながる販路開拓及び情報発信の一貫した支援**を実施。

＜支援内容＞ ・ 専門家の意見を踏まえた観光コンテンツの磨き上げ・商品化
 ・ 新たな観光コンテンツのオンライン等を活用した国内外への販路開拓及び情報発信

事業イメージ

観光コンテンツの磨き上げ・商品化

小千谷縮のオリジナル織物製作 (小千谷市)

茶の道ロングトレイル (掛川市)

**まだ観光活用されていない
新たな地域素材の活用**

- ・ 観光には活用されていない地域産業等を活かした観光コンテンツの磨き上げ
- ・ 既存のコンテンツ等も含めたパッケージ化・ツアー化 等

販路開拓・情報発信

ATWS2023北海道の模様

適時適切な誘客に繋げる販路形成・情報発信

- ・ 国内実施主体と海外旅行会社とのマッチング・商談会の開催
- ・ 効果的な販路開拓・情報発信に向けたセミナーの開催
- ・ オンラインを活用した情報発信 等

事業スキーム

- ・ 事業形態：間接補助事業 400万円まで定額、400万円を超える部分については補助率1/2 (補助上限：1,250万円、最低事業費：600万円)
- ・ 補助対象：国→民間事業者(事務局) →地方公共団体、DMO、民間事業者等

令和6年度概算要求における主要事項について

- 観光は我が国の成長戦略の柱であり、地域活性化の切り札。持続可能なあり方で全国あまねくその効果を広めるべく、「**持続可能な観光地域づくり**」「**地方を中心としたインバウンド誘客**」「**国内交流拡大**」に戦略的に取り組む。
- また、令和5年8月26日の総理指示を受け、「**オーバーツーリズムの未然防止・抑制に向けた対策パッケージ**」（令和5年10月18日 観光立国推進閣僚会議決定）をとりまとめ。

一般財源(主なもの) (要求額:121億円)

※このほか、R4年度補正予算において設定した国庫債務負担行為の歳出化予算120億円を一般財源で要求

持続可能な観光地域づくり

- 【受入環境整備】
- 混雑緩和・マナー違反の防止等によるオーバーツーリズムの未然防止 等
- 【稼げる地域・稼げる産業の実現】
- 地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化
 - 観光DXの集中的取組による先進的な観光地創出 等
- 【人材不足対応】
- 就職説明会や広報強化支援など観光事業者の人材確保支援
 - 人材活用の高度化に向けた設備投資支援 等



マナー啓発、パークアンドライド



宿泊施設の高付加価値化

地方を中心としたインバウンド誘客

- 【地方誘客・消費額増加】
- 地域周遊・長期滞在の促進を目的とした滞在コンテンツの充実・旅行商品流通等の取組促進 等
- 【プロモーション】
- 万博を契機とした戦略的な訪日プロモーション
 - 双方向交流拡大に向けた各国政府観光局との連携促進 等



ウェブサイト・オンライン広告による情報発信

国内交流拡大

- 【新たな交流市場の開拓】
- 日本版ユニバーサルツーリズムモデル地域
 - 反復継続した来訪を促進する「第2のふるさとづくり」
 - 働き方の多様化を踏まえたワーケーションの普及・定着 等



住民とともに地域行事の企画・運営を行うプログラム

旅客税財源(要求額:420億円)

国際観光旅客税を活用したより高次元な観光施策の展開

1. ストレスフリーで快適に旅行できる環境の整備

- 最先端技術を活用した革新的な出入国審査等の実現等
- OICT等を活用した多言語対応、AIチャットボットの導入等



電子申告ゲートの利便性向上



保安検査におけるスマートレーンの導入促進

2. 我が国の多様な魅力に関する情報の入手の容易化

- インバウンドの回復に向けた戦略的な訪日プロモーションの実施
- MICE誘致のためのコンベンションビューロー機能高度化支援



航空会社との共同広告



海外MICE見本市における日本ブース

3. 地域固有の文化、自然等を活用した観光資源の整備等による地域での体験滞在の満足度向上

- 新たなインバウンド層の誘致のためのコンテンツ強化等
- 文化財や国立公園等を活用したインバウンドのための環境整備 等



文化資源の活用

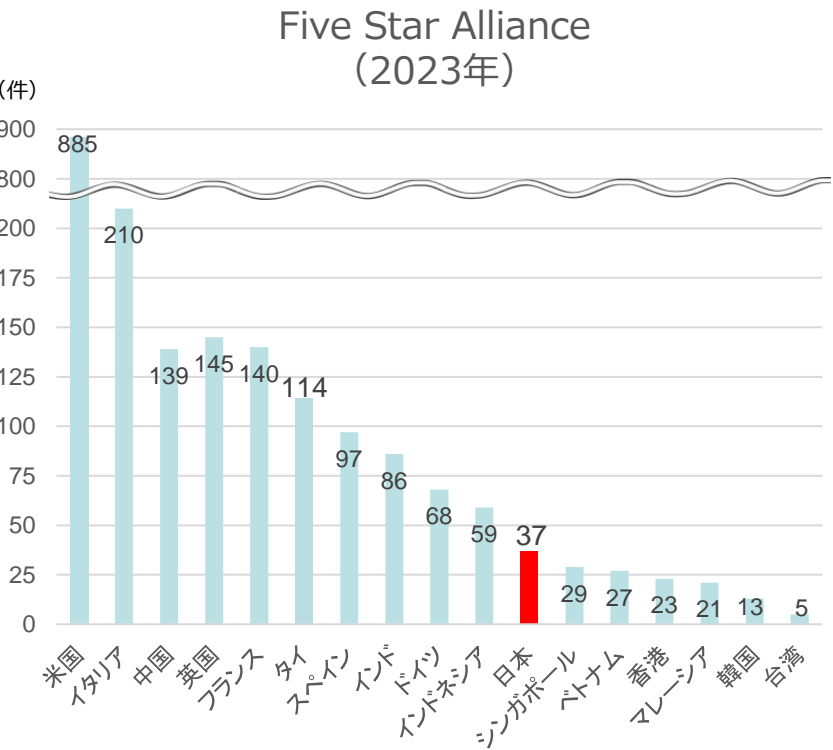


国立公園の環境整備

国別「5つ星ホテル」の状況

- 我が国の「5つ星ホテル」は、Five Star Alliance（米国の高級予約サイト）によれば**37件**であり、今後も国内ホテル大手の新規開業が多数見込まれる。
- 我が国では、**全国11カ所のモデル観光地を選定し、総合的な施策を集中的に講じ、高付加価値旅行者の誘致を進めていくこととしている。**

日本国内の5つ星ホテル ※2023年11月時点



東京 (22)

- アマン東京
- ANAインターコンチネンタル東京
- アンダーズ東京
- コンラッド東京
- グランドハイアット東京
- Hotel Okura Tokyo
- フォーシーズンズホテル丸の内
- 帝国ホテル東京 インペリアルフロア
- 帝国ホテル東京
- ホテルインターコンチネンタル東京ベイ
- ホテル椿山荘東京
- マンダリン オリエンタル 東京
- パレスホテル東京
- パークハイアット 東京
- シャングリ・ラ 東京
- ザ・キャピトルホテル東急
- ザ・ペニンシュラ東京
- ザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町
- ザ・プリンスパークタワー東京
- ザ・リッツ・カールトン東京
- 東京エディション虎ノ門
- ホテルニューオータニ エグゼクティブハウス 禪

京都 (4)

- アマン京都
- ハイアットリージェンシー 京都
- 翠嵐
- ザ・リッツ・カールトン京都

北海道 (2)

- パークハイアット ニセコ HANAZONO
- ザ・ウィンザーホテル洞爺リゾート&スパ

神奈川 (2)

- ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル
- 横浜ベイホテル東急

三重 (1)

- アマナム

広島 (1)

- シェラトングランドホテル広島

大阪 (5)

- コンラッド大阪
- ホテル阪急インターナショナル
- 帝国ホテル 大阪
- ザ・リッツ・カールトン大阪
- セントレジスホテル大阪